

相馬
ゆうこの

南千住レポート



まちづくり、
くらしの情報
を届けます



区議会控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192

・HP→
・ツイッター @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp



コロナワクチン 来年度から高齢者の定期接種に

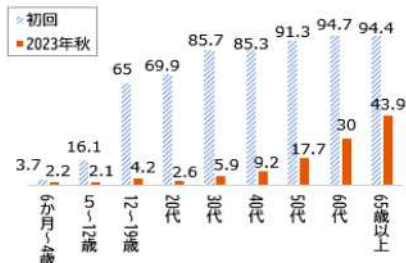
来年度以降の新型コロナワクチン接種について、インフルエンザと同様に年1回の「定期接種（B類）」として、対象を「65歳以上の方」と「60～64歳の基礎疾患等がある方」に、64歳以下の方は任意接種で対象外とする方針が、11月22日(水)の厚労省専門部会です承されました。



実費では 現状、ワクチンはファイザー、モデルナ1.9万円負担!? の売り手市場で1回130ドル（約1.9万円）と報道され、接種を実施する区の独自補助がどこまでできるか問題です。高すぎる個人負担では、「定期接種」になったとしても受ける人がいなくなり、新たな感染拡大になりかねません。国産ワクチンの使用もすすんでいます。接種費用を抑えるために国・東京都の支援の検討が求められます。

64歳以下	65歳以上
任意接種	定期接種
全員が実費負担	高齢者など区が独自補助
年一回・希望者のみ	

接種率は 区内のワクチン接種率（11/27時点）は、肺炎など重症事例の減少・5類移行も影響し、65歳以上で約4割など各年代で減少。一方で、基礎疾患があるなどまだ不安に思う方もいます。



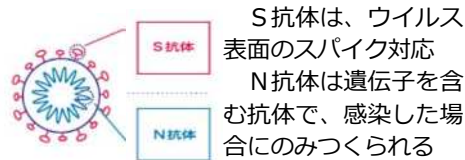
今年7～8月の厚労省の調査（関西・中国・四国）では95.4%が「S抗体」を保有。感染した場合のみつ

くられる「N抗体」は45.3%で約5割に（右）。N抗体は「5～9歳」が73.8%で最大です。高齢者は20%台と低く、主にワクチン接種によって免疫を得ているのが現状でしょうか。



国・都・区の支援検討を 70歳以上の約7割、全体の4割が定期接種を希望しており、今後の変異種も想定され、国・自治体の接種への支援が必要です。副作用など健康被害や後遺症への支援拡充も引き続きもめたい。

新型コロナの抗体は2種類



- ・感染…「N抗体」「S抗体」両方
- ・ワクチン接種…「S抗体」のみ

【抗体保有率】



読書の秋～図書館の貸出数ランキング



「読書の秋」もあつという間で冬本番の寒さですが、みなさんは最近本を読まれたでしょうか。

区立図書館の今秋（9～11月）の貸出数ランキングは、1位は池井戸潤さんの「ハヤブサ消防団」・市川沙央さんの「ハンチバック」が101回で同数に。

貸出数ランキング（9/1～11/30）

				蔵書数	予約数
101回	ハヤブサ消防団	池井戸潤	2022年9月	21	0
101回	ハンチバック	市川沙央	2023年6月	17	129
99回	月の立つ林で	青山美智子	2022年11月	18	0
91回	川のほとりに立つ者は	寺地はるな	2022年10月	17	0
91回	教誨	袖月裕子	2022年11月	18	0
91回	魔女と過ごした七日間	東野圭吾	2023年3月	18	173
90回	光のどこにいてね	一穂ミチ	2022年11月	17	80
89回	くもをさがす	西加奈子	2023年4月	18	186
89回	コメンテーター	奥田秀朗	2023年5月	17	74
89回	方舟	夕木春央	2022年9月	18	52

本格「田園」ミステリー 「ハヤブサ消防団」は自然豊かな町を舞台にした「田園ミステリー」。発売は昨年9月ですが、今年7～9月にテレビドラマが放送され、原作を読みたいという方がふえたようです。



現在は予約状況も落ち着き、すぐに貸出可能。

難病と生きる主人公を描く 「ハンチバック」は今年の第128回文学界新人賞、第169回芥川賞を受賞。先天性ミオパチーという難病と生きる作家が、自身を投影した主人公を描いています。また、当事者として「読書バリアフリー」の環境整備を訴えておられ、考えさせられます。まだまだ予約が多く、手に取れるようになるのはもう少し先でしょうか。



また、子どもの絵本のランキングはこちら。長年愛されている本ばかりですね。

区立図書館では、来館が難しい場合は自宅へ本を届け、回収も行います（貸出期間1か月）。問合せは（南千住図書館 ☎03-3807-9221）まで。



137回	だるまさんが	かがくいひろし
120回	がたんごとんがたんごとん	安西水丸
116回	くつついた	三浦太郎
104回	だるまさんと	かがくいひろし
99回	くだもの	平山和子
97回	だるまさんの	かがくいひろし
95回	ぼんちんぼん	柿木原政広
93回	じゃあじゃあびりびり	まつのりこ
91回	11びきのねこ	馬場のぼる
90回	はらぺこあおむし	エリック=カール

南千住図書館の休館日

※毎週月は定休

- ・12月は11～15日の5日間
- ・年末年始は12月29～1月4日まで（ゆいの森は12月29～1月3日まで）



〈法律・生活相談〉

12月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

鳥インフルエンザ…荒川区も「野鳥監視重点区域」に

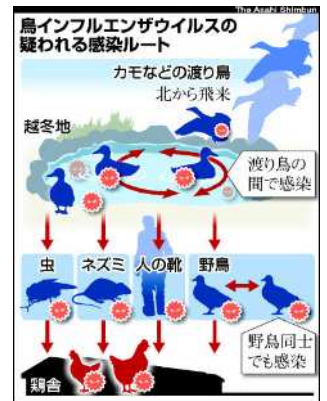
11月28日(火)に千代田区で回収されたノスリ1羽について、都の簡易検査では「陰性」でしたが、その後、国立環境研究所が遺伝子検査を実施したところ、30日(木)にA型鳥インフルエンザ「陽性」を確認。さらに12月1日(金)、感染力のつよい「高病原鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)」が検出されました。都内で野鳥から高病原性のウイルスが検出されるのは3例目で、これまでのところ、ほかの野鳥などへの感染は確認されていないそうです。



ノスリ(タカ科)

これをうけ、環境省は発生地の周辺10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。荒川区も該当地域となり、異常の疑いがある死亡野鳥について都へ報告がもたれます。

ふえる鳥インフル 鳥インフルエンザの流行は10月～翌1月頃まで、昨シーズンは過去最多の1771万羽の鶏が殺処分になりました。卵の価格が高騰し、メニューを中止する飲食店もありました。今シーズンはこれまでに18万羽が処分になっています。鳥インフルエンザがふえている理由として、専門家は「渡り鳥がウイルスを持ったまま日本へ来るようになった」とのこと。通常は人に感染しないと考えられており、国は殺処分について「鶏肉や卵の安定供給のため」としています。



(朝日新聞より)

もし死亡した鳥を見つけたら…

- ・野鳥が死亡する理由は環境の変化や餌不足など様々で、鳥インフルエンザのみを疑う必要はありませんが、素手で触らないようご注意ください。
- ・タカ類などの猛禽類、ハクチョウやガンの仲間、カモ類、カイツブリ類、ユリカメメ等の水辺の鳥が死亡している場合や、同じ場所で複数の野鳥が死亡している場合は、右記までご連絡ください。

荒川区 環境清掃部 環境課 ☎03-3802-4694

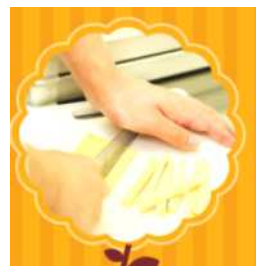
東京都 環境局 自然環境部 計画課 ☎03-5388-3506

「かわいいクッキー、どこで買える？」 先日、「かわいいクッキー

が区内で売っているみたいだ

けどどこで買える？」とお話が。来年の干支「辰」のタツノ

オトシゴをモチーフにしたクッキーです。たしかにかわいい。



実は…保存料なしのクッキーを手作りしている、区の障がい者就労支援施設「荒川ひまわり第2」(東尾久)でつくっています。単品では販売しておらず、季節限定のスイーツボックスにのみ入っているとのこと！ボックスは90セット限定、受付は15日(金)までです。ぜひどうぞ。



タツノオトシゴクッキー

2024年の干支は辰。辰の代わりにタツノオトシゴをモチーフにしたクッキーです。

申込み：荒川ひまわり第2 ☎03-3895-6149

「ひとり親家庭サポート事業」もっと使いやすく

区議会11月会議での日本共産党区議団の本会議質問から、一部をご紹介します。

【問】「ひとり親家庭サポート事業」を、使いやすい制度に改善して



「ひとり親家庭サポート事業」は、自宅にヘルパーやベビーシッターを派遣して育児や家事の援助を行うもので、所得によって自己負担なしで利用が可能です。ただし、○利用は月5回まで○育児援助は子どもが生後6か月～小3まで○家事援助は小1～小6までの制限があります。また、ひとり親になって1年以内は条件を問いませんが、その後は就職活動や冠婚葬祭などに限定されています。

区内のひとり親は約2,000世帯と見込まれますが、2022年度の実績では登録18世帯、実際に利用したのは10世帯のみ。昨年度区が行ったひとり親の調査では、「そもそもサポート事業を知らない」「家事援助は障がい児なら中3まで広げてほしい」などの意見も寄せられています。

【答弁】事業の積極的な周知と利用促進が課題と認識している。利用手続きの簡素化、要件の緩和について検討をすすめている。



せっかくの制度なので、子どもの年齢ではなく世帯の状況や希望に応じて利用できるよう、実態調査も活かしてサービスを拡充してほしい。引き続き区の支援をもとめます。

7丁目に障がい児通所施設がオープン予定



放課後等デイサービス ウィズ・ユー南千住【2024年01月オープン予定】の児童発達支援管理責任者求人(正職員)

放課後等デイサービス（放デイ）と児童発達支援（児発）を併設した「ウィズユー南千住」が、来年1月開設予定です。場所は南千住7丁目ハイツD棟121号室で、定員10人、事業者は(有)安藤商事。

※障がい児のための施設で
・児童発達支援…未就学児向け
・放課後等デイサービス…就学児の放課後の居場所 です

発達障害など支援が必要な子どもがふえ、区内でも障がい児の通所施設が足りず入れないという声も。南千住には放デイ2か所、児発1か所のみです。区のたんぽぽセンター（児童発達支援）も定員拡大を予定していますが、必要な子どもがより良い支援を受けられるよう、環境整備が必要です。

7丁目ハイツ



ご意見・ご質問頂きました ○電話で問合せが…「非課税世帯への8万円の給付金はいつになるの?」ということです。先週のレポートでも給付金の予算について議会審議はお知らせしましたが、区がこれから給付事務を行う事業者の決定などを行うことになり、早くとも来年1月以降になりそうです。具体的な日程が分かり次第お知らせしたいと思います。○東京都の「18歳までの6万円支給」の申請がまだの方…018サポートポータルサイト:<https://018support.metro.tokyo.lg.jp/>から申請してください。郵送申請など0570-082-018コールセンターに問合せを。

